

ラナウ滞在記

小林 征二 (koba-sei@cube.ocn.ne.jp)

桃代 (k-momoyo@juno.ocn.ne.jp)

1/25 から 3/8、避寒のためサバ州を M 夫妻と共に訪問いたしました。ラナウに到着したときは雨期が明けかけた頃で、終日雨に見舞われる日もありましたが、2 月に入ると天候も安定し、ラナウらしい、日中は暑いが湿度は低く、朝晩は涼しい日が続くようになりました。今回は、ラナウのスラゴンホームステイを拠点にして、数箇所旅行をしてみよう、何処に何日位行くかは現地で決めよう、ということにして出かけました。私たちの到着から数日後に、W 夫妻が到着されました。

1/31、M 夫妻、W 夫妻、私どもで車を一台借りきり、コタキナバル(KK)を日帰りで行きました。Am8:00 にスラゴンホームステイを出発し、pm6:00 に帰って来て、車代として RM220 を支払いました。KK のカラムシンショッピングモールの中にあるゴルフショップで M さんがゴルフ用トローリーを RM125 で購入されました。ムルデカの 6F にあるゴルフショップの方が、規模が大きいのですが、開店が am11:00 というので、早く着きすぎたため閉まっていた。

ラナウゴルフクラブの芝刈り用重機が故障していたことが原因で、ラナウ到着後数日間は、フェアウェイの芝が伸び放題で、全体がラフのようでしたが、2/5 から 2/7 に開催されたトーナメントに合わせて整備されました。1/30、M 夫妻、W 夫妻、私どもとゴルフ場の支配人、キャディーマスター、スタッフ数名と酒パーティを開催いたしました。日本酒と乾き物を当方が提供し、魚とラム肉の焼き物を先方が用意してくれ、大いに懇親を深めることができました。プロモーション価格で会員募集をしたことが功を奏してか、KK に住む会員が増えたそうで、プレイヤーも少し増えたように感じました。ゴルフ場の前に Yuna Café というレストランがオープンしており、結構美味しいので昼食にたびたび利用しました。2 月上旬は、雨期が明けた直後であり、ゴルフ場は適度に潤っていましたが、3 月上旬になると日照りが続いたせいで芝が少し茶色に変色しかけており、フェアウェイが固まっていた。ゴルフ場だけでなく、ラナウ全体に緑の中に茶色が目立つようになりました。

ドリアンのシーズンは、9 月末から 10 月ですが、この季節でも、食べることができました。少し熟しているような感じがしますが、相変わらず甘くて美味しく、値段も最盛期と同等でした。今回ジャングルドリアンというものを始めて知りました。普通のドリアンに比べて半分位の小さなものですが、この時期でも新鮮で豊かな甘さを提供してくれます。CCY という果物店で、チクーというローカルフルーツをいただきました。男爵芋のような形状をしており、柔らかく、ざらっとした食感のする甘い果物でした。この店の奥さんは、ローカルフルーツについていろいろと教えてくれるし、ときどきおまけをしてくれるので、ラナウに滞在しているときは、よく訪れることにしています。

2/1、オスマン(スラゴンホームステイのオーナー)さんのご家族やスタッフと M 夫妻、W 夫妻、私どもで雑煮パーティを催しました。果物・野菜市場で、大根、人参、葱などを購入し、冷凍の鶏肉を AYAM ISTIMEWA COLD STORAGE で購入しました。同店は、永発レストランと CIMB 銀行の間にある冷凍食品専門店で、鶏肉以外にもいろいろな冷凍食材を扱っています。(場所についてホ

ームページ「ラナウ案内」を参照のこと)

ラナウゴルフクラブのトーナメントの期間中、M 夫妻とクダットに行つてゴルフをすることにしました。Kudat Golf & Marina Resort(電話: 088-611211 FAX: 611311)を予約し、宿泊料金は、朝食なしで RM115/部屋でした。正確に言うと、Kudat Golf Club(電話: 088-611002 FAX: 088-611003)に宿泊予約をしました。Golf Club に宿泊費用を支払い、Voucher を受け取り、それを Hotel のフロントに提示します。直接ホテルに予約すると、宿泊費は朝食付きで RM148/部屋ゆえ、朝食を軽く済ませたい人は、Golf Club に宿泊予約をした方が割安です。ゴルフ代金ですが、ビジターには、二人用のバギーを使用し、バギー一台にキャディーを一人つけることが義務付けられています。バギー代金は RM52.5(18 ホール)で、キャディーフィーは RM25(18 ホール)です。ラナウゴルフクラブの会員ゆえ、紹介状を持参し、グリーンフィーは RM20(18 ホール)でした。9 ホールの場合、料金は何れも半額です。ボルネオ島の最北端の景勝地 Tip of Borneo へ夕日を見に行きました。ホテルに依頼し、車代は RM80 でした。ホテルから車で 10 数分走ったところら福昌茶餐室(HOCK CHEONG 電話:013-8679659)という中華料理屋があり、スチームボードが一人前 RM15 と安く絶品でした。しかし、最少三人前からです。また、Sungai Wang という中華料理屋のスチームドフィッシュもお奨めです。ラナウクダット間の移動は、往復ともラナウのタクシー会社に依頼し、片道 RM340 でした。クダットからラナウへ帰路、Gombizau Honey Bee Farm に立ち寄り、蜂蜜を購入しました。800cc のペットボトルに入った蜂蜜が、純粋のものとプロポリス入りがあり、何れも RM50 でした。スラゴンにお土産として買って帰ったところ、とても有名な蜂蜜だということで大喜びされました。

2/11、オスマンさんから“Ceaser’s Place”のお披露目を行うので招待したい」というお誘いを M 夫妻と共に受けました。“Ceaser’s Place”とは、キナバル国立公園の傍に新しく建てられた宿泊設備の名称で、オスマン家の長男シーザーさんが経営します。キナバル山を眺望できる海拔 1,500m の高地に 4 部屋からなる一戸建てが建っています。2 階には広々としたダブルベッドの部屋が 2 部屋あり、1 階には 2 ベッドルームの部屋と 8 ベッドが入ったドミトリーがあります。一泊の宿泊料金は、2 階の部屋が RM150、1 階の 2 ベッドルームの部屋が RM200、ドミトリーが RM20/ベッドだそうです。予約は、スラゴンホームステイにすればよいとのこと。営業開始前に親戚や私たちを招いてお披露目が行われました。



シーザーズプレイスから見たキナバル山

満天のスターダストの下で焚き火を囲みながら BBQ をご馳走になり、2 階の部屋に泊めていただ

きました。ラナウと比較すると5、6℃低く、一晩中強風が吹きすさんでいました。スラゴンホームステイに滞在中にキナバル国立公園でトレッキングなどを楽しむため1、2泊してみるのも一興かと思えます。

2/13は、中国正月の大晦日にあたりました。例年のことですが、オスマンさんの親戚の中国系の人の家に招待していただきました。この日のホストは、ラナウゴルフクラブのNO2で、ゴルフ場で時々お会いするラナウの名士ピヒンさんです。2/15、KK国際空港の傍にあるAirport View



パイリーンさんと立ち話

Hotelにおいて中国正月に伴うオープンハウスが実施され、M夫妻と共に連れて行っていただきました。オープンハウスとは、裕福な人が家を開放し、訪問する人に差別なく食事を振る舞うしきたりを言うようです。Sabah United Partyという政党があり、党首はパイリーン氏です。党のNO2クラスが3人おり、その中のひとりが中国人で、その日のホストを務めていました。因みにオスマンさんは、NO3クラスだそうです。パイリーン夫妻も出

席されていたので、立ち話でしたけど、5月の収穫祭と7月のヌヌクラガンでの再会を約しました。この日のオープンハウスの訪問客は優に1,000人を超えていたと思います。中国民族楽器による演奏や曲芸士によるライオンダンスなどが余興として花を添えました。2/26、ラナウの中国人会が主催するオープンハウスが街のホールで開催され、当日、スラゴンに宿泊していた日本人4人とフランス人2人がオスマン夫妻に同行いたしました。観光大臣



中国正月でのライオンダンス

のマシディさん始め顔見知りの方に何人かお会いすることができました。当地では、オープンハウスは、中国正月、収穫祭、ハリラヤ、クリスマスの時期に開催されるそうです。

2/19から3日間の予定でM夫妻がケニンガウへ旅行されました。往復ともミニバスを利用され、ラナウーケニンガウの片道の料金がRM20/人で、2時間30分を要したそうです。ケニンガウから

の帰りの便で客が定員になるまで時間が掛かり、かなり待たされたそうです。タクシーを利用すると



マシディ環境大臣と記念撮影

片道 RM200 位かかり、それに比較するとミニバスは安いけど、客が揃うまで発車せず、長時間待たされることがあります。

2/24、M 夫妻とタワウへ長距離バスを利用して出かけました。タワウは、インドネシアとの国境の町であり、サバ州で 3 番目の都市です。ラナウのインフォメーションセンターで予約し切符を RM60/人で購入しました。

am7:00 に KK を出たバスが

am9:00 にラナウに来て、pm5:00 にタワウに到着しました。途中サンダカン方面との分かれ道で 30 分のランチ休憩があり、タワウまで 8 時間の道程でした。車窓にはパームやしのプランテーションが続き、時折原生林らしき景色を楽しむことができました。夕食は海辺近くのシーフードの屋台 (Kam Ling Fresh Seafood 金陵生猛海鮮飯店 電話: 089-756457) という店でソフトシェルクラブなどを美味しくいただきました。翌日、タワウヒルズパークという公園へ出かけました。タクシー代が片道 RM35 でした。入場料を RM10/人支払い、植物園で、さらに RM5/人支払いました。植物園では、ガイドがつき、詳しく説明してくれました。この蘭は盛りが 12 月から 1 月ということで小さな花しか見ることができませんでした。当公園に、世界一高いトロピカルツリー(88.32m)があるということなので 30 分位少し急な山道を歩いて見に行きました。タワウからの帰りは、2/26、am7:00 のバスを利用し、pm2:30 にラナウに着きました。帰りのバス代は RM50/人でした。

間もなく帰国という頃、M 夫人がペナンの友人にドライマンゴを買いたいのでルンキャン(オスマン夫人)さん気付の速達便(POS LAJU)で送るよう電話されました。5kg のドライマンゴを送って貰うのに送料が RM70 近くかかりましたが、ペナンから発送後 2 日で到着しました。

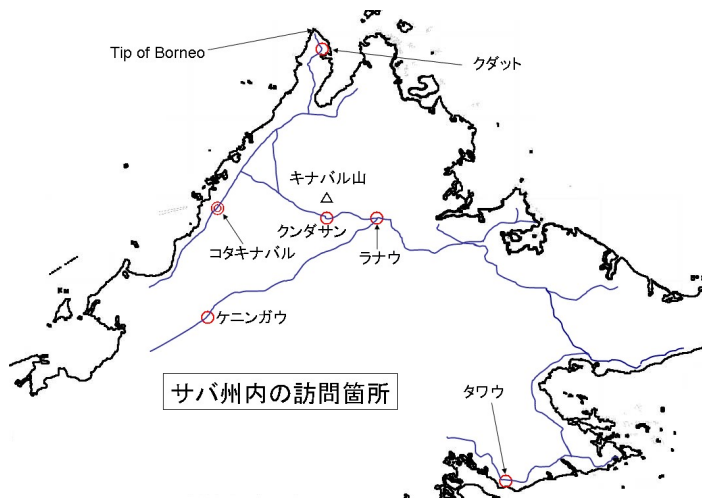
3/3 は、家内の誕生日です。前日ラナウのパン屋さんに誕生ケーキを注文したら、プレゼントを添えてくれました。家内は、オスマン夫妻やスラゴンのスタッフ、当日の宿泊者全員の祝福を受けて、大いに感激していました。

スラゴンには、いろいろな国の人がやってくるので、出会いを楽しむことができます。今回も、日本をはじめジンバブエ、南アフリカ、フランス、デンマーク、シンガポール、サラワク州などからの訪問客と面識を得ました。

今回のスラゴンを拠点にした旅行のアレンジについてシーザーさんの助力を得ることができ、大いに助かりました。ホームステイを特徴にしたスラゴンのホスピタリティの素晴らしさに感謝する次第

です。KK、クダット、タワウでいろいろと楽しい体験をいたしました。しかし、気候面から見た住み易さはラナウが一番です。訪れた何れの都市ともラナウに比べて暑く湿度が高く、ラナウにある爽やかな透明感がないように感じました。各地でラナウでは必要としないエアコンのお世話になりました。

スラゴンでの滞在時に気を付けなければならないことがあります。今回ある滞在者がカメラと携帯電話を紛失されました。部屋に鍵を掛けて、出かけている間になくなったそうです。早速、スラゴンに話し、日本の電話会社に携帯電話の使用停止措置を



講じるよう連絡いたしました。翌日早朝から警察による調査が行われました。窓を開けて出かけられていたので、スラゴンの庭を流れている小川で魚とりをしていた少年たちが侵入したのだらうと推定されました。スラゴンには、貴重品を保管するセーフティーボックスと保管室が私どもの提案にもとづき設けられています。現金やパスポートは、そこに保管して貰えば安全でしょうが、日常使用する貴重品は、自ら管理するしかありません。私たちがより安全かつ快適に滞在できるよう、セキュリティ面や生活面での改善提案をスラゴンにしていきたいと思います。今回もいくつかの提案をさせていただきました。

私たちのような長期滞在者にとって航空券代金は旅行費用のかなりの部分を占めます。今回は、昨年購入したマレーシア航空の JIMAT 45 日間航空券をキャンセルし、同社から新春に発売され

	45 日間 航空券	片道航空券	
		成田→KK	KK→成田
航空券代金 (割引率)	¥160,000 (50%)	¥37,000 (80%)	¥33,102 (RM 1,226) (80%)
追加燃料代 + 空港使用料など	¥21,640	¥12,840	¥15,498 (RM 574)
合計	¥181,640	¥98,440	

た航空券を購入し直して渡航いたしました。表の金額は、すべて 2 人分です。10 月に 45 日間の往復航空券を

¥181,640 で購入しました。1 月にお年玉キャンペーン航空券が、(成田→KK 間) 片道¥49,840 (追加燃料代等を含む) で発売されたので、(KK→成田間) 片道航空券と合わせて購入しました。KK→成田間は、リングギット建てで通常時なら日本発の航空券に比較して半額程度です。しかし、成田→KK 間が、キャンペーン価格だったので、成田発の航空券が格安で、KK 発の航空券とほぼ同等でした。¥27/RM で換算すると、両方の片道航空券の合計価格が、¥98,440 になります。従って、

3万円／2人分のキャンセル料金を支払っても、金額的に得することになります。また、従前、航空券は往復で買うものと思っていました。往復航空券は、滞在期間が長いほど高くなります。しかし、往路と帰路をそれぞれ片道航空券で買うと滞在期間に伴う価格高の影響を受けません。マレーシア航空は、ときどきキャンペーンを実施します。今回の滞在期間中にもバレンタインキャンペーンと称して格安航空券が発売されたので、5月出発、7月帰国のそれぞれの片道航空券二人分を¥98,240で購入しました。この種の航空券は、web上で購入する必要があります。さらに、キャンセルや変更ができないなど制約も多いのですが、価格的な魅力があります。5月の収穫祭と7月のヌクラガンの祭事に参加できることを楽しみにしています。

参考文献：「ラナウ案内」 <http://www6.ocn.ne.jp/~khc>